

着こなすいえ

ガラス繊維を編んで作った「ガラス布」を格子状のポールに掛けながら暮らす家。物干し竿に洗濯物を干した時のように、ガラス布が掛けられることで軽やかに空間が潤いとられる。住まい手は、ストックした多種多様な色・厚み・テクスチャーのガラス布を、気分に合わせて組み合わせ暮らしを作っていく。



ある晴れた日。掛けられたガラスの布がそよ風にひらひらとはためいている。



3月
そろそろ衣替えの季節
薄手のガラス布を出してこなきゃ



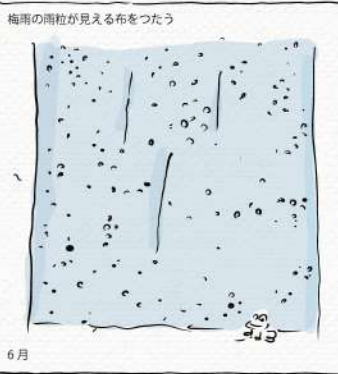
4月
よいしょっ



4月
心地よい風を感じながらひとやすみ



5月
木漏れ日が落ちる床



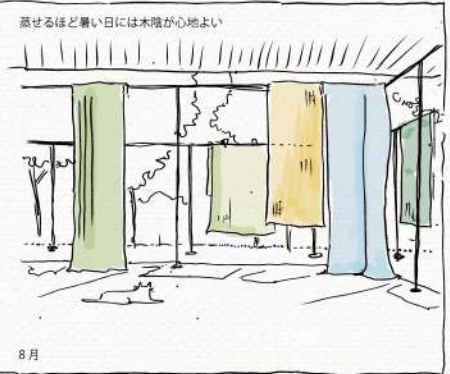
6月
梅雨の雨粒が見える布をつたう



7月
それっ！



8月
暑いなあ



8月
蒸せるほど暑い日には木陰が心地よい



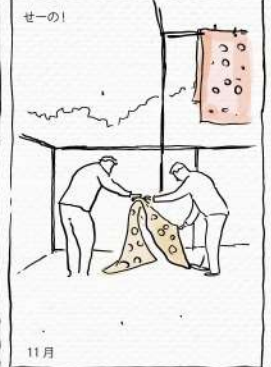
9月
遠ゆく人ととんちには



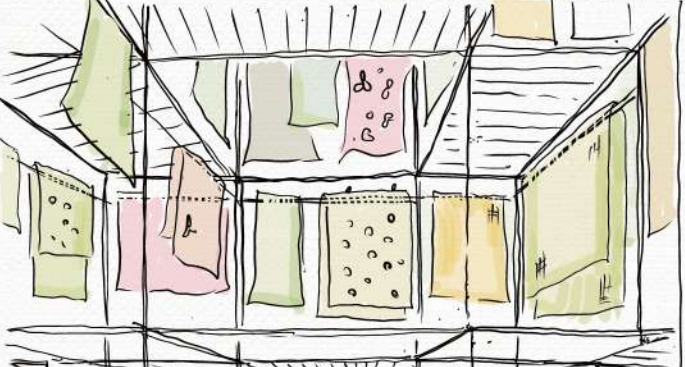
9月
ガラス布のファッションショー



10月
またまた衣替えの季節。
今度は厚手のガラス布を出してこなきゃ



11月
せーの！



11月
お隣さんと交換してもいいね♪



12月
小さく囲えば暖が取れる



1月
雪をかぶるとかまくらみたい



2月
冬でも着こなしたい



3月
お隣さんと交換してもいいね♪



3月
太陽の光を受け鮮やかな色彩が広がる